

小児歯科学特論・実習・臨床実習

《キーワード》 小児歯科、成長発育、乳歯、幼若永久歯、う蝕、齲蝕予防、外傷、歯列不正、対応法

《担当者名》 広瀬 弥奈、倉重 圭史

【概要】

小児歯科医療・治療の基礎と臨床を修得させ、専門医の育成を目標とする。小児は常に成長発育を継続している個体であるが、小児歯科学は小児の口腔領域の正常な発育を図り、これを阻害する異常や口腔疾患に対して、その予防と治療を行い、口腔を管理し、永久歯による健全な総合咀嚼器官を育成しなければならない。そのためには、乳歯・幼若永久歯の疾患の予防と治療、小児の口腔軟組織の疾患と治療、顎口腔領域の疾患の治療、歯列・咬合関係の正常な発育を図るとともに異常の予防と治療等を学び修得させることを目標とする。

【学修目標】

1. 乳歯の形態と機能・役割について説明できる。
2. 乳歯と幼若永久歯の臨床的特徴、う蝕とう蝕予防、外傷等の治療法について説明できる。
3. 小児の口腔軟組織疾患とその治療について説明できる。
4. 歯列・咬合関係の正常と異常を評価し、歯列不正の予防と治療について説明できる。
5. 口腔衛生管理やう蝕予防を実施できる。
6. 乳歯と幼若永久歯のう蝕治療、外傷の治療を実施できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	講義	1) 小児の心身の発育 2) 顎・顔面の成長発育 3) 歯の発育と形成障害 4) 歯列・咬合の発育と異常、その処置法 5) 小児の歯周組織、軟組織疾患	広瀬 弥奈 倉重 圭史
2	講義・臨床実習	1) 齲蝕予防 2) 乳歯・幼若永久歯のう蝕（歯内療法を含む）及び処置法 3) 小児の歯の外傷、外科処置	広瀬 弥奈 倉重 圭史
3	講義・実践	小児患者の対応法	広瀬 弥奈 倉重 圭史

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、レポート、症例発表

【教科書】

授業・実習中に提示する。

【参考書】

授業・実習中に提示する。

【備考】

外来における実習を含む。

【学修の準備】

事前に提示した到達目標に合わせて、関連資料の収集・文献講読をしておくことが望ましい。